

タチツボスミレ (立ち坪菫)

名前の意味：立ち上がるツボスミレの意味。ツボは中庭のこと、スミレは花の形が大工道具の墨入れに似ているから。

分類：双子葉類、スミレ科、スミレ属

(スミレ科の栽培植物：パンジー、ビオラ)

好きな場所：薄暗くて湿った林の下、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：スペード形の葉が根元にあつまってつく、花のさいた後は茎が伸びる、藤色の花

種子の運ばれかた：果実がはじけて飛ばされた後、アリに運ばれる

花弁の数：離弁、5枚

花の時期：3—5月

食べ方：食べられない

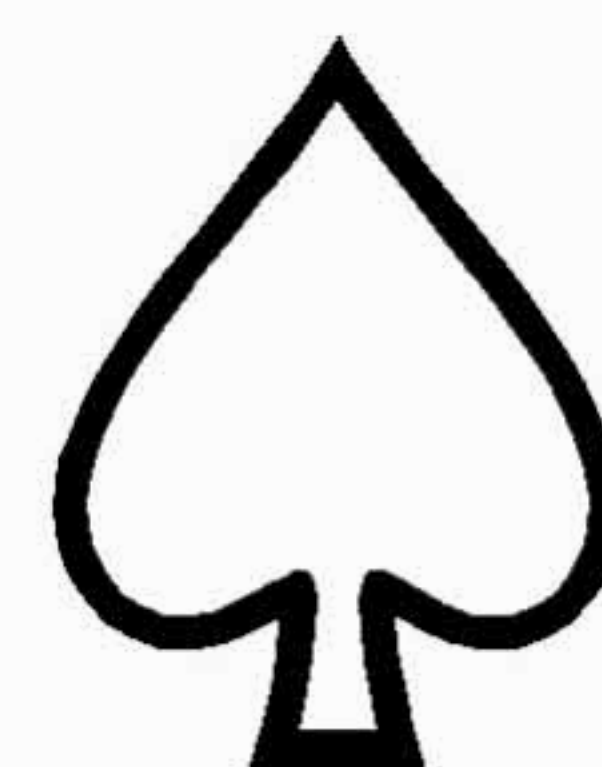
見分け方：ツボスミレとは花が大きいこと、花の色が藤色なこと、暗い所に生えることで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)



スペード